



Title	報告 大阪大学大型計算機センターニュース 第47号 (Vol.12 No.3)
Author(s)	
Citation	大阪大学大型計算機センターニュース. 1982, 47, p. 31-34
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/65544">https://hdl.handle.net/11094/65544</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

## 第49回全国共同利用大型計算機センター 運用会議議事要旨

日 時 昭和57年7月16日(金)

場 所 北海道大学百年記念会館

議 事

### I 報告事項

1. 各センターの現況について
2. 各研究会(統計情報研究会、計算機言語研究会、プログラムライブラリ研究会、コンピュータネットワーク研究会、データベース研究会)について
3. 負担金検討小委員会について
4. センター長会議について
5. 事務長会議について

### II 審議事項

1. 負担金の一部改訂について  
東北大、東京大、大阪大、九州大及び北海道大から、負担金の一部改訂(案)についてそれぞれ提案説明があり、いずれも原案どおり了承された。
2. 研究開発連合発表講演会における大型計算機センター以外の共同利用研究機関からの発表について  
京都大から、全国共同利用大型計算機センター研究開発連合発表講演会実施要領の一部改正について提案説明があり、原案どおり了承された。
3. 運用会議等の開催回数について  
北海道大から、運用会議の開催回数を年1回とすること、及びこれに関連して事務長会議の開催回数を削減することについて提案説明があり、了承された。
4. その他
  - 1) 次回運用会議の当番校について  
次回の運用会議は、来年(時期は未定)、東北大で開催することになった。
  - 2) 第5回研究開発連合発表講演会の当番校について  
第5回講演会は、昭和58年中に、大阪大で開催されることになった。

以 上

## 大型計算機利用大阪地区協議会総会議事録

日 時	昭和57年10月8日(金) 午後2時～		
場 所	大阪大学大型計算機センター 大会議室		
出席者	大阪大学豊中地区	高木修二	
	大阪工業大学	八重垣茂夫	
	大阪経済大学	泉弘志	
	大阪薬科大学	石田寿昌	
	大阪市立大学	久安純一郎	
	大阪教育大学	加藤清	
	関西大学	東村高良	
	大阪電気通信大学	平木久雄	
	大阪樟蔭女子大学	藤村和久	
	国立循環器病センター研究所	笠置文善	
	大阪学院大学	莊巣舜哉	
	和歌山大学	斎藤慎	
	和歌山工業高等専門学校	相馬哲郎	
	奈良女子大学	高津秀子	
	奈良県立医科大学	赤井久純	
	神戸大学	福島徹	
	神戸商科大学	西川仙之	
	甲南大学	高村和子	
	神戸市立工業高等専門学校	吉永元一	
	神戸学院大学	西山利夫	
	神戸女学院大学	奈良宏子	
	甲子園大学	細川隆雄	
	甲南女子大学	菊地真一	
	岡山大学	川端親雄	
	岡山理科大学	井上弘行	
	香川大学	瀬野芳孝	
	愛媛大学	馬場口登	
	愛媛大学農学部	関谷光博	

高知大学農学部	近 森 邦 英
高知女子大学	大 久 保 茂 男
四国女子大学	吉 村 幸 雄
徳島大学	真 鍋 俊 彦
阿南工業高等専門学校	武 知 英 夫
幹 事 大阪大学工学部	安 井 裕
大阪大学大型計算機センター	大 室 昌 士
陪 席 者 大阪大学大型計算機センター	関 谷 全
	藤 井 譲
	磯 本 征 雄
	大 中 幸三郎
	長 谷 川 昭次郎
	三 谷 泰 介
	青 井 信 一
	藤 井 博

## 議 事

### 報告事項

#### 1. 大阪大学大型計算機センターの現況報告について

##### (1) 昭和57年度(4月～8月)処理状況等について

藤井助教授から、資料1-1に基づき、昭和57年度(4月～8月まで)の処理状況、接続端末数、利用申請課題数についての報告があった。

##### (2) 昭和56年度処理状況について

藤井助教授から、資料1-2に基づき、昭和56年度の処理状況について報告があった。

##### (3) 新規サービスについて

藤井助教授から、資料1-3、及び別紙S1000の機器構成図に基づき、新規サービス(スプール処理システム、マスデータファイル、LA支援システム、PLOT10 IGL)のサービス開始日と概要について説明があり、特にマスデータファイルの使用について活発な質疑応答があった。

#### 2. 大阪大学大型計算機センター負担金改訂について

藤井助教授から、資料2に基づき、10月1日から実施している負担金改訂の趣旨について説明があった。

3. DDXパケット交換網による大学間コンピューターネットワークのサービスについて  
藤井助教授から、資料3に基づき、DDX加入状況、接続の形態、参入手続き、加入概略フロー（案）、相互接続、公衆電気通信法の改正について説明があった。
4. データベースの運用とサービスについて  
磯本講師から、資料4に基づき、本センターでサービスしているデータベースの概略、利用法について説明があった。
5. 大阪地区（第6地区）連絡所一覧表について  
大室共同利用掛長から、資料5のうち変更箇所があれば届け出てほしい旨協力依頼があった。
6. その他
  - (1) ファイル課金は1リンク（1日につき）となっているが、どのように課金しているかとの質問があり、1日のある時点の使用量をサンプリングし、その日の使用量に応じて課金している旨回答があった。
  - (2) 市販のデータベース（文献データベース）導入の意向について質問があり、文部省の学術情報センター構想やデータベースに要する経費を勘案すると非常に難しい問題であるが、他センターでサービスされていないもので、しかも使用頻度の多いことが予想されるデータベースについては今後導入を検討していきたい旨回答があった。
  - (3) 利用者がセンターに対する質問、要望がある場合その窓口が不明である旨質問があり、学内利用者（センター本館）は、センターに用意してある希望、質問票を利用者受付に提出し、学外利用者は、共同利用掛へ文書を提出してほしい旨回答があった。
  - (4) システムダウンが発生した場合、センターから利用者に対して通報方法を確立するべきである。

また他センターと本センターとの故障時間の多寡について質問があり、大規模なシステムダウンについては、以前速報に掲載したことがある。

また他センターと本センターとの故障時間の比較は、各センターで刊行している計算機稼動状況を参照願いたい旨回答があった。